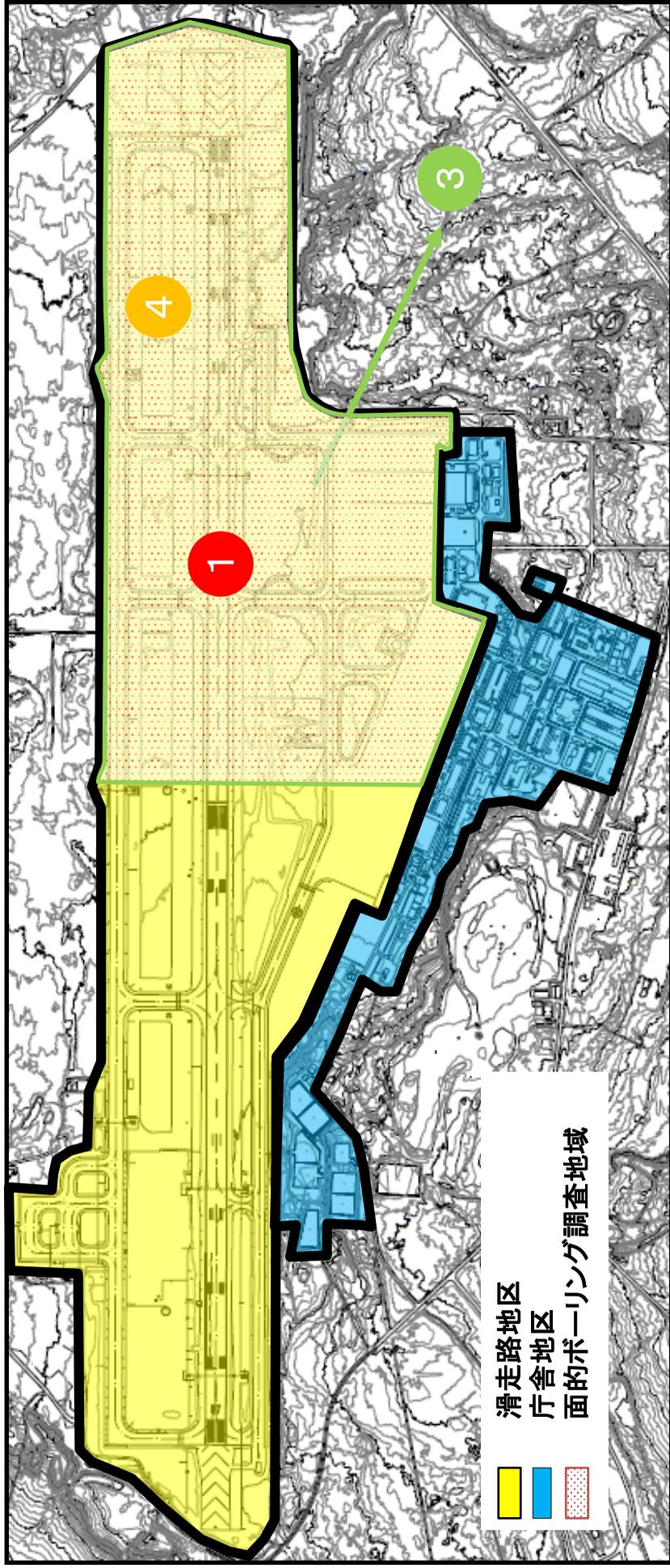


令和3年度の取組状況等①

令和3年度実施計画	これまでの取組状況等（令和4年3月31日現在）
<h2>○滑走路地区の掘削・遺骨収容</h2> <p>1 未探索の壕（1箇所）について、閉塞地点の先の延長部へ入壕するための開口工事に着手する。（P3）</p> <p>2 滑走路周辺部で確認されている探索済み壕の構造解析を行い、閉塞地点の先に該当する地上部分でボーリング調査を実施。（P4）</p> <p>3 面的なボーリング調査により、地下20m程度まで滑走路地区東側半面の壕の探索を実施。（P5～P9）</p> <p>4 令和元年度に新たに確認された未探索の壕1箇所の構造解析や入壕方法の調査、検討（P10）</p>	<p>○ この壕からは合計4柱（平成29年度2柱、平成30年度2柱、令和元年度0柱）の御遺骨を収容。平成30年度のボーリング調査により確認された閉塞地点から先の地上に向かっている延長部へ入壕するための準備工事を開始した（令和4年度以降も工事を継続して実施）。</p> <p>○ 2箇所の壕の調査を予定していたが、当該壕が確認できなかつたため調査を断念し、④の調査に注力した。令和4年度は別の2箇所の壕のボーリング調査等を実施する。</p> <p>○ 滑走路地区東側半面において、300箇所 of 面的なボーリング調査を実施。壕と思われる4箇所の空洞を確認した（うち1箇所は過去に発見した壕と接続していると推定。）。</p> <p>○ ボーリング調査により壕の構造解析を行い、入壕方法の調査、検討を実施した。</p>
<h2>○外周道路外側の面的調査・遺骨収容</h2> <p>5 平成27年度～30年度調査区域の面的調査及びその後の調査により確認された壕等からの遺骨収容。（P11～12）</p>	<p>○ 17箇所の壕等の調査を実施した結果、令和3年度は24柱の御遺骨を収容した。令和4年度においてもこれまで確認された壕からの御遺骨の収容を実施する。</p>
<h2>○滑走路地区周辺以外の地下壕調査</h2> <p>6 滑走路地区周辺以外の地下壕調査の実施。（P13～14）</p>	<p>○ 滑走路地区周辺以外の探索済壕の洗い出し及び面的調査で未発見となっている遺骨・壕等の存在が推測される地点の調査を行った。また、改良型地中探索レーダによる北飛行場跡地の壕の探査を行った。令和4年度も引き続き、調査を実施する。</p>

令和3年度の取組状況等②（滑走路及び滑走路周辺部図）

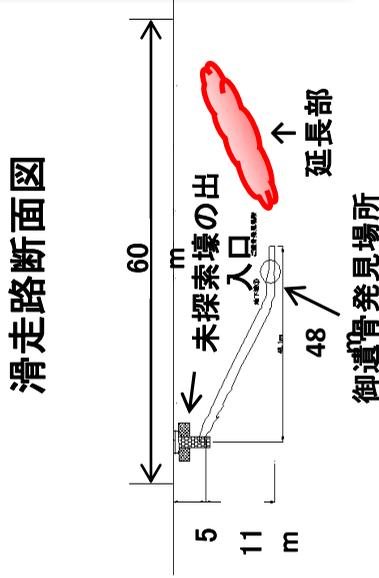


- ①未探索の壕(1箇所)について、閉塞地点の先の延長部へ入壕するための開口工事。
- ③面的なボーリング調査による、地下20m程度まで滑走路地区東側半面の壕の探査の実施。
- ④令和元年度に新たに確認された未探索の壕1箇所の構造解析や入壕方法の調査、検討。

1 滑走路地区未探索壕の令和3年度開口工事

- ・本壕から、これまで合計4柱(29年度2柱、30年度2柱、元年度0柱)の御遺骨を収容した。
- ・令和2年度に、平成30年度のボーリング調査により確認された閉塞地点から先の「延長部」への安全な入壕方法を検討。
- ・令和3年度から開口工事に着手。(令和3年度は地熱対策、電源ケーブルの敷設を実施。)
※令和4年度は、立坑等を施工予定

滑走路断面図



60,000 (令和3年度施工分)

3,500

サクセム製UFC床版
3300×3300 t=150

深礎工去

φ2,500 d=6,500
t=2,7mm (SS330)

セメント改良

令和3年度施工



- 掘削幅 1.2m * 下記配管埋設後埋戻して復旧する
- 掘削深さ 1.0m
- 照明用 電気保護管 φ100 1本
- 換気用 空気圧送管 φ250 1本

滑走路帯

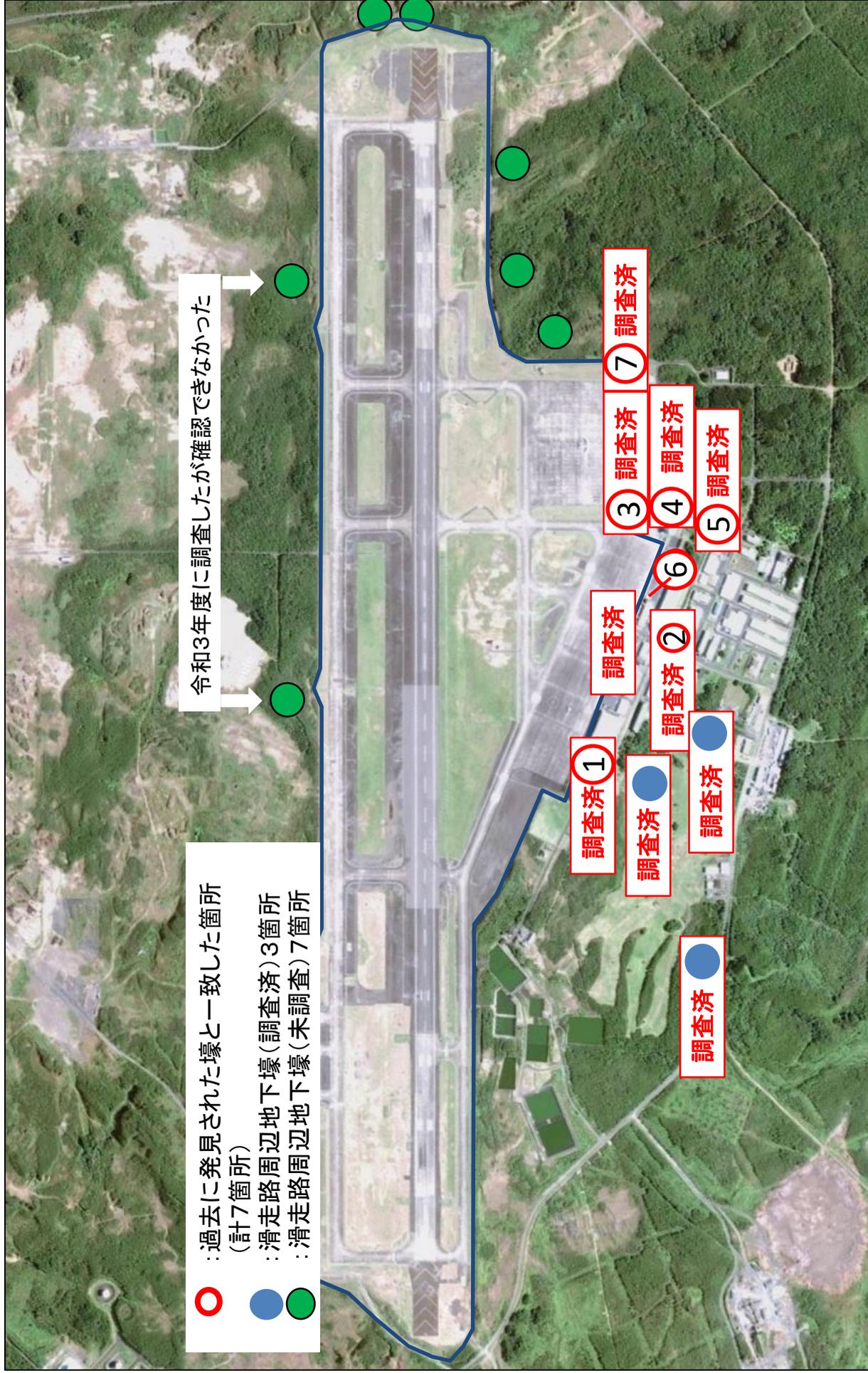
地下壕

令和4年度施工予定

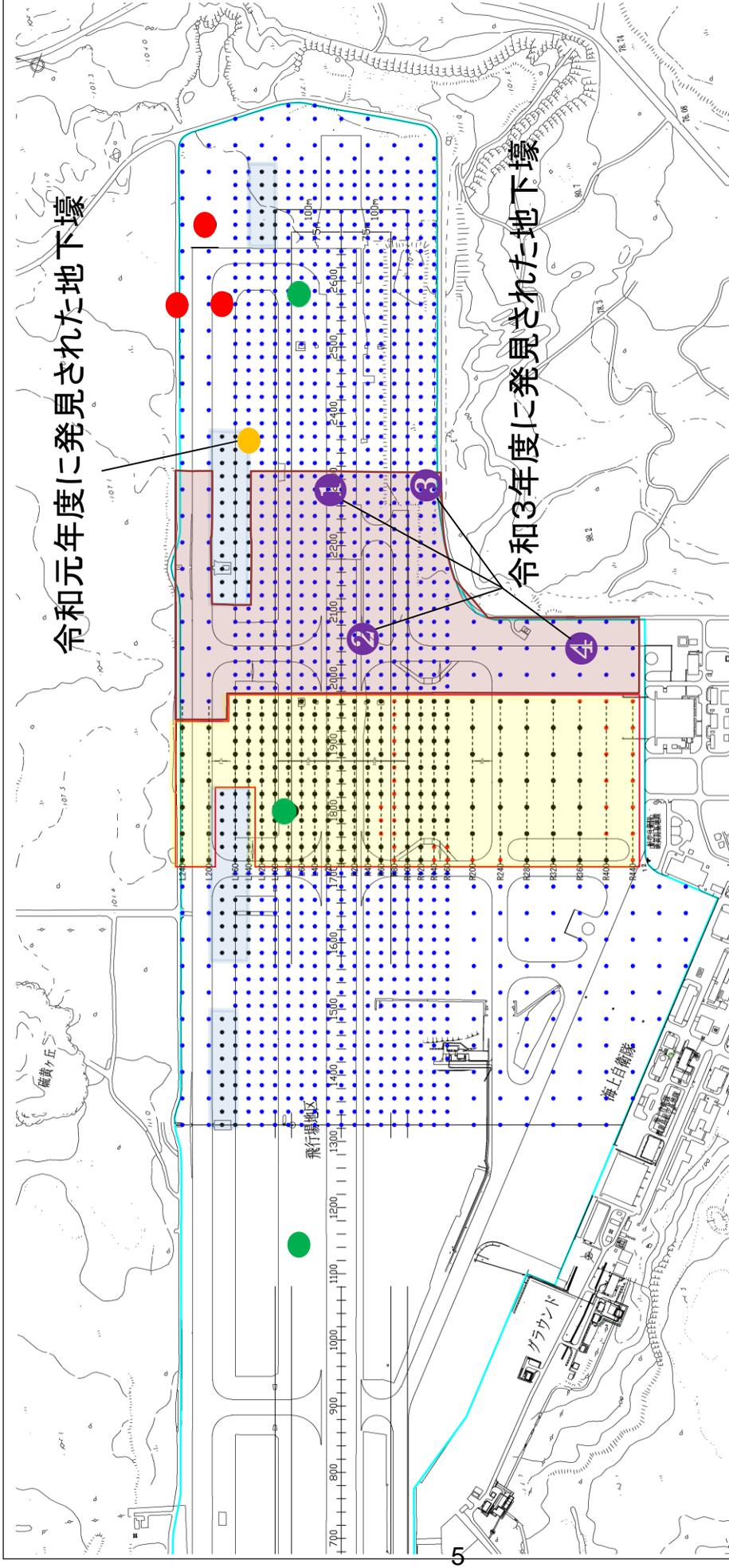
18,500

75,000

2 滑走路周辺部で確認されている探索済壕の調査の結果



3 面的ボーリング調査の実施状況

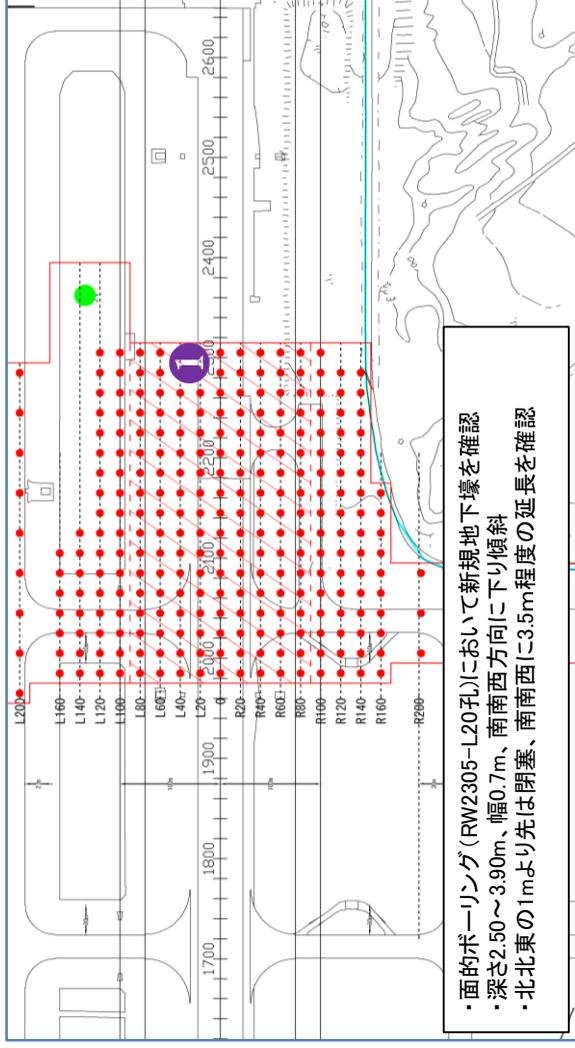


- 令和元年度 面的ボーリング調査完了範囲 (105箇所)
- 令和2年度 面的ボーリング調査完了範囲 (270箇所)
- 令和3年度 面的ボーリング調査完了範囲 (300箇所)
- 異常反応地点 (令和元年度調査済 地下壕無)
- 異常反応地点 (令和2年度調査済 地下壕無)
- 面的ボーリング調査により発見された地下壕 (令和元年度1箇所)
- 面的ボーリング調査により発見された地下壕 (令和3年度4箇所)

残 815箇所

①②③④

① 令和3年度に確認された地下壕-1



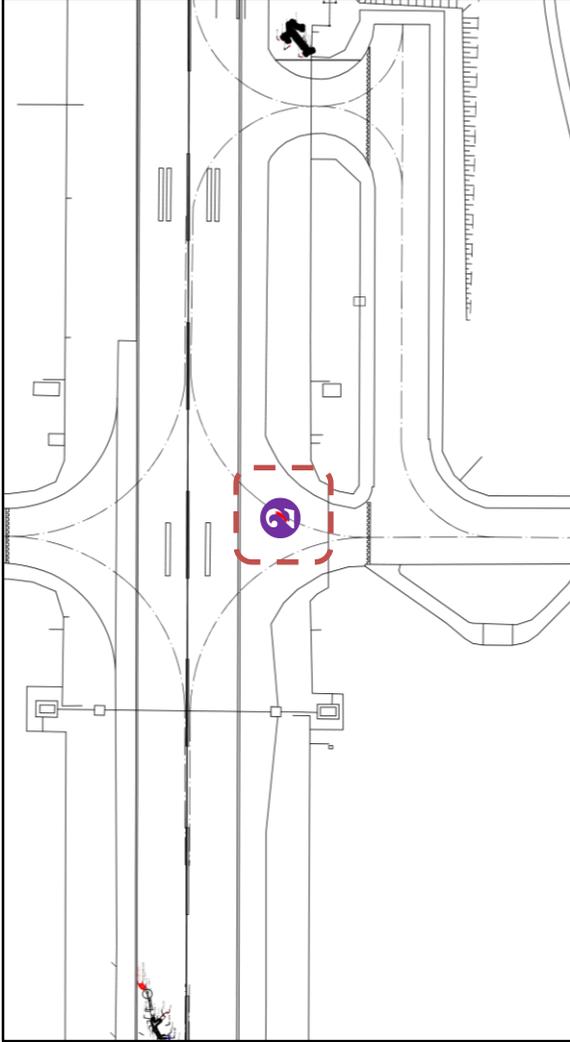
W

N

E

S

② 令和3年度に確認された地下壕-2



③ 令和3年度に確認された地下壕－3



4 令和3年度に確認された地下壕-4



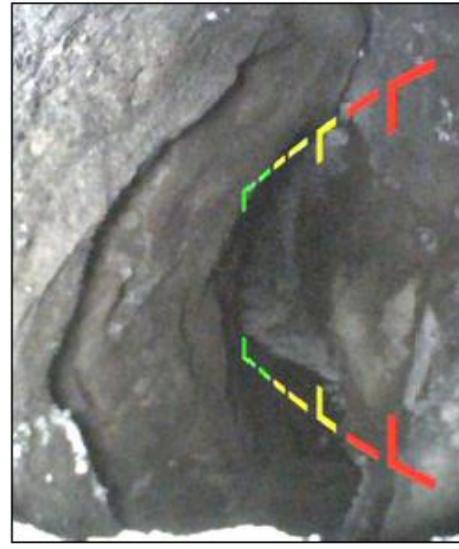
- ・ 面的ボーリング (RW2045-R360孔)にて地下壕を確認
- ・ 深さ18.5～20.1mであり、南北方向に分布している
- ・ 北側は崩積土により閉塞している
- ・ 南側はある程度延長があるように見えるが、崩積土により閉塞している



CCD画像 (鉛直方向、GL-18.5m付近)
ボーリング孔は地下壕壁面をかすめるように掘削されている。

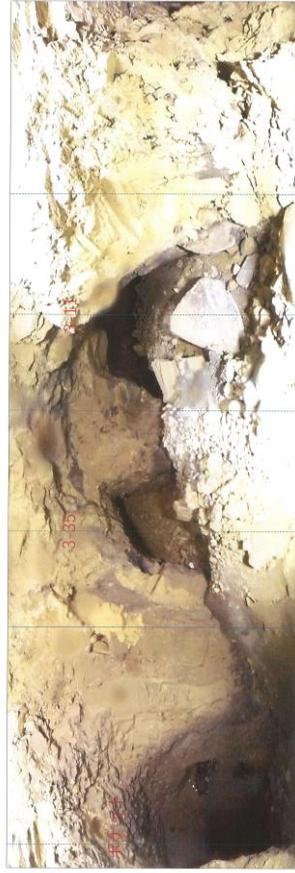
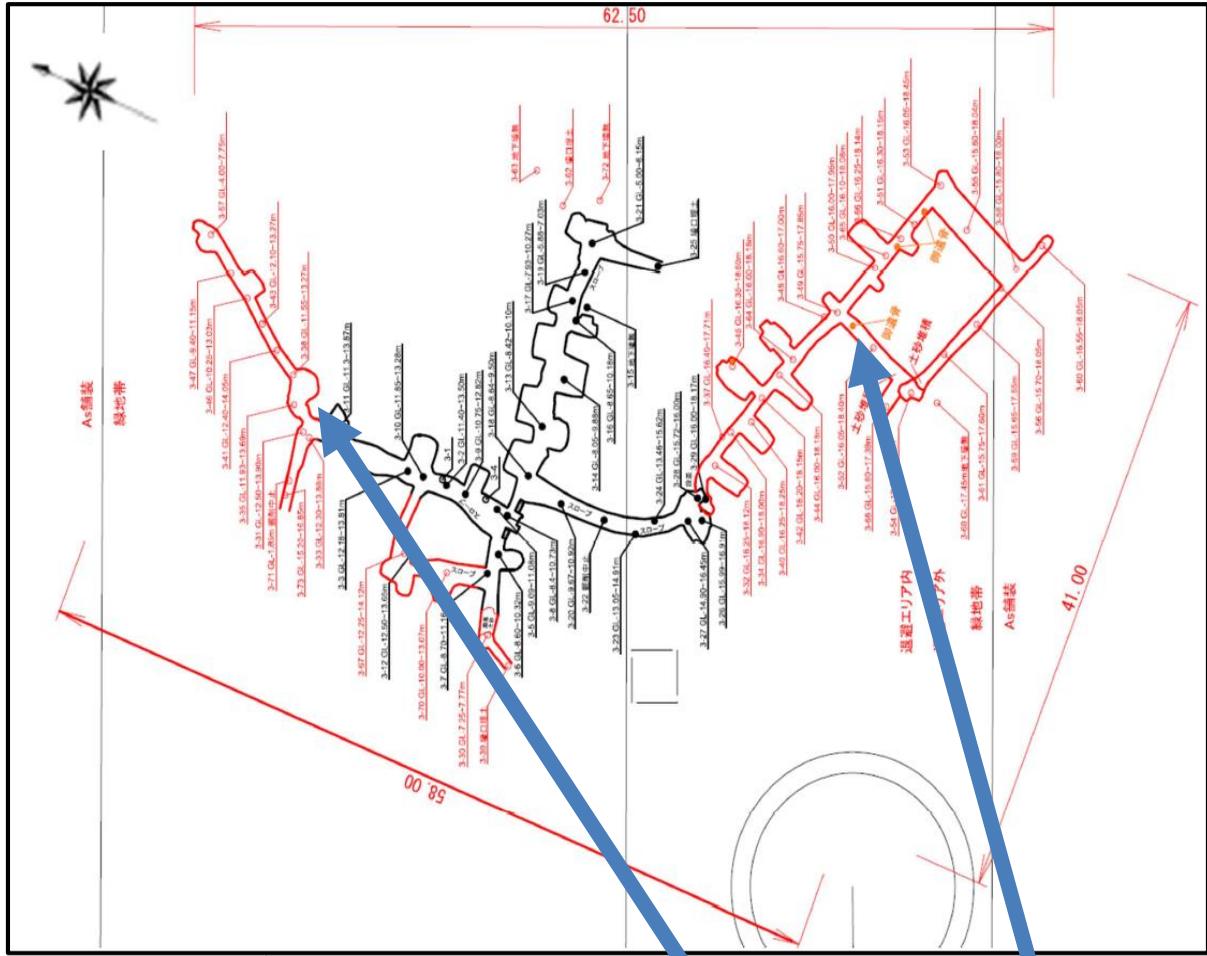
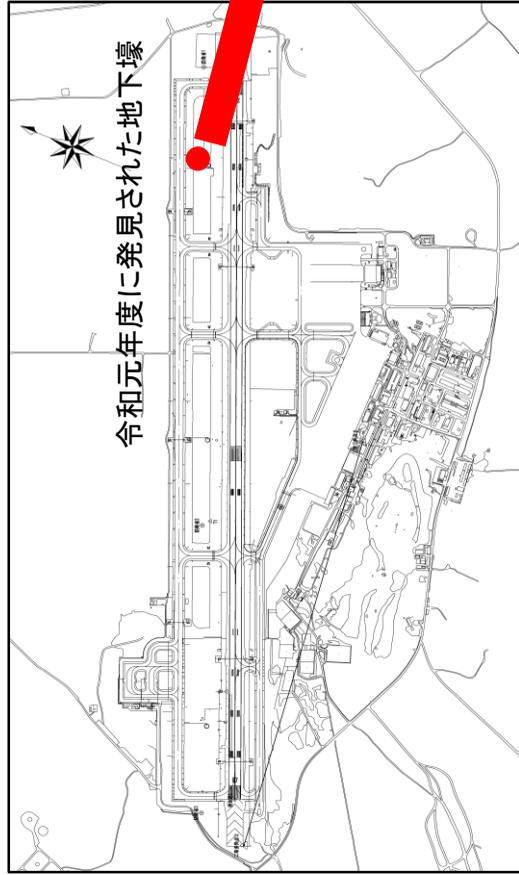


CCD画像 (北側方向)
地下壕は北側に開けているが崩積土が多く堆積



CCD画像 (南側方向)
地下壕は南側に開けており、天端は連続している

令和元年度に確認された地下壕の状況



W N E S

5 外周道路外側の面的調査・遺骨収容①



【令和3年度遺骨収集収容柱数】

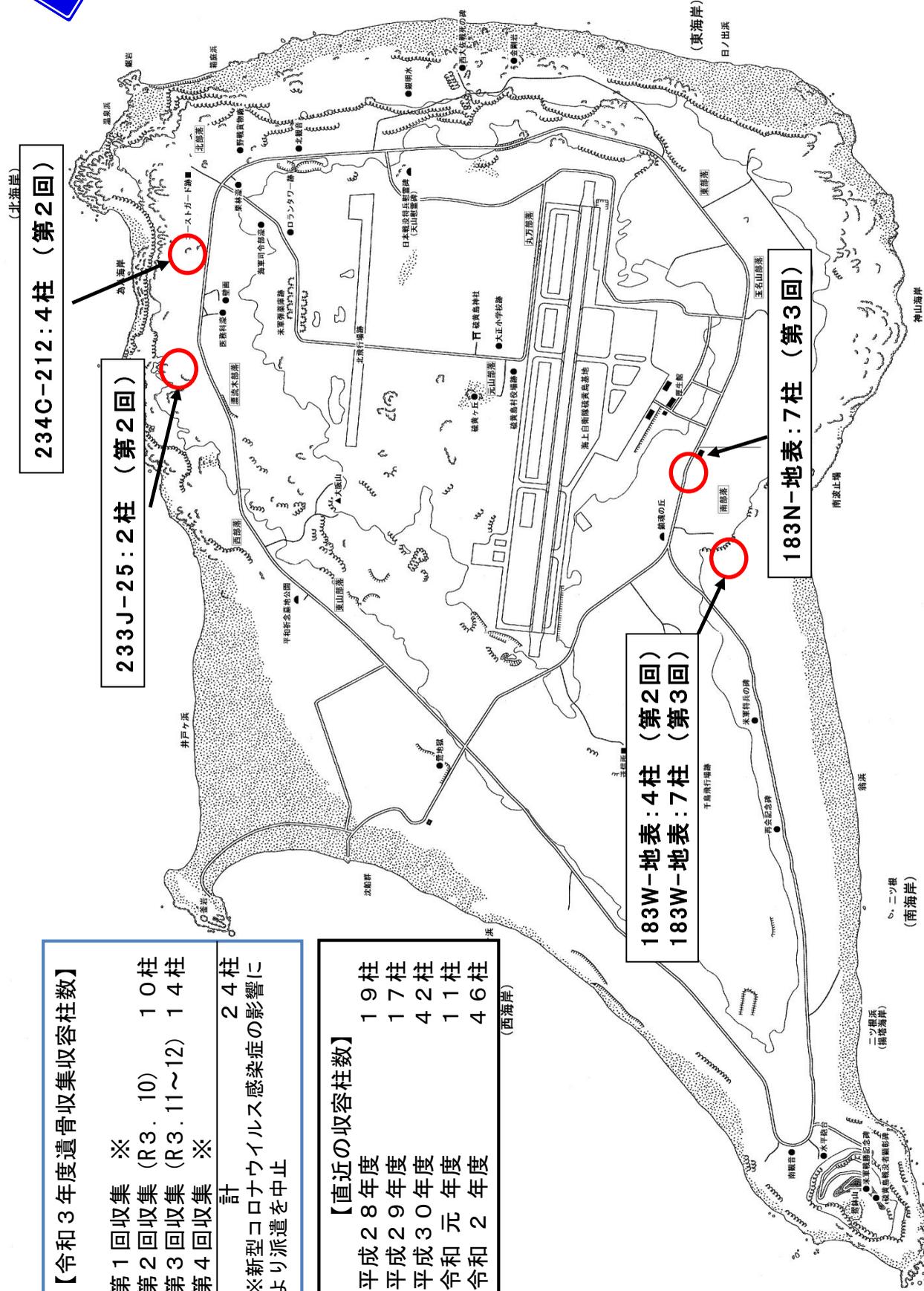
第1回収集	※	10柱
第2回収集	(R3. 10)	14柱
第3回収集	(R3. 11~12)	24柱
第4回収集	※	24柱

計 24柱
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣を中止

【直近の収容柱数】

平成28年度	19柱
平成29年度	17柱
平成30年度	42柱
令和元年度	11柱
令和2年度	46柱

(西海岸)



ニッ楯浜 (瀬崎海岸)

ニッ楯浜 (瀬崎海岸)

5 外周道路外側の面的調査・遺骨収容②

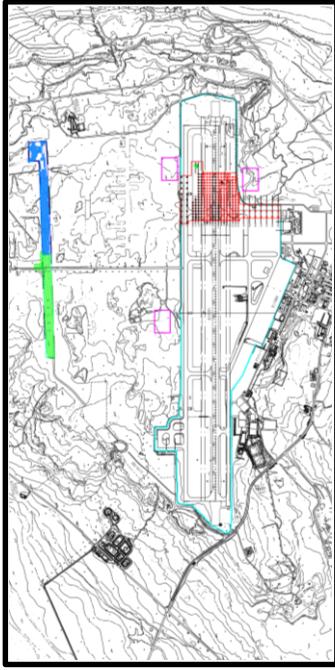
面的調査の結果、発見された壕等において遺骨収容を実施し、その結果、令和3年度は24柱の御遺骨を収容した。



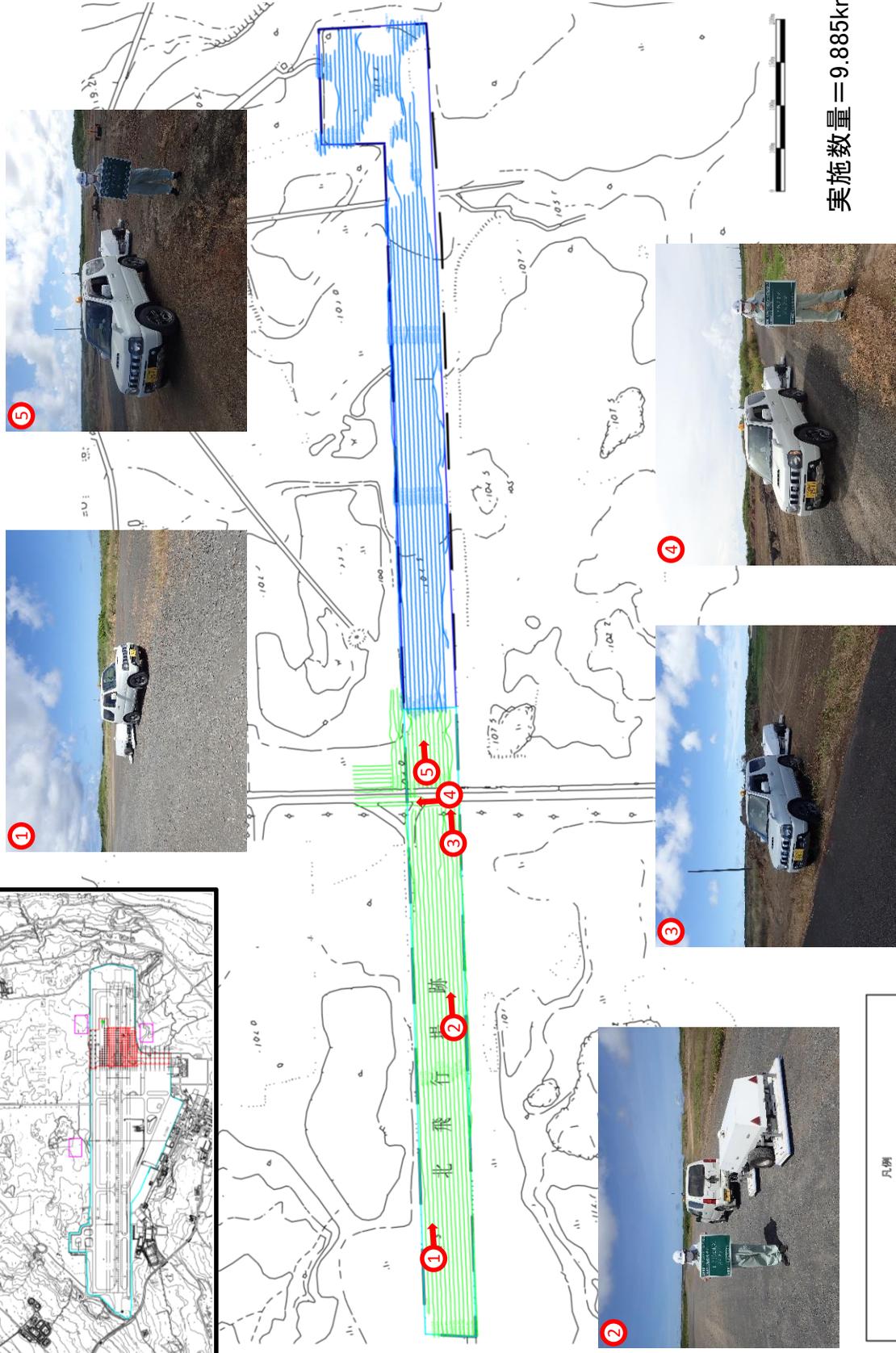
6 滑走路地区周辺以外の地下壕調査①



6 滑走路地区周辺以外の地下壕調査②(北飛行場跡地における地中レーダ探査)



探査実施測線図および探査状況写真



実施数量 = 9.885km

凡例

- 北飛行場跡地
- 令和13年度地中レーダ探査測線(探査延長9.8km)
- 令和12年度地中レーダ探査測線(探査延長9.8km)